

# 宮城県感染症発生動向調査情報

令和04年11月17日発行

2022.11.7 ~ 2022.11.13 - 第45週 -

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所					仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第42週	第43週	第44週	第45週
水痘	2 0.50	2 0.20	1 0.14		1 0.50	1 0.04	7 0.12	226				
流行性耳下腺炎					1 0.50		1 0.02	71				
感染性胃腸炎	8 2.00	21 2.10	12 1.71	12 1.50		63 2.33	116 2.00	9,659	◎	◎	◎	◎
手足口病	4 1.00	6 0.60	14 2.00	1 0.13		3 0.11	28 0.48	5,022	◎	○	レ	○
伝染性紅斑				1 0.13	1 0.50		2 0.03	48				
突発性発しん	3 0.75	1 0.10	4 0.57		1 0.50	4 0.15	13 0.22	1,030				
ヘルパンギーナ	2 0.50					1 0.04	3 0.05	818				
インフルエンザ	3 0.43		2 0.18		5 1.25		10 0.11	51				
咽頭結膜熱			2 0.29			2 0.07	4 0.07	265				
流行性角結膜炎							0 0.00	78				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2 0.20	4 0.57			1 0.04	7 0.12	520				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	5				
無菌性髄膜炎							0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎						1 0.20	1 0.08	27				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	35 8.75	36 3.60	15 2.14	3 0.38		46 1.70	135 2.33	1,272	○	◎	◎	◎
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1				5						
	川崎病			1								
	不明発疹症					1						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))  
塩釜管内 女性2名  
仙台管内 男性1名, 女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症  
石巻管内 女性1名(O26)

4類感染症: つつが虫病  
大崎管内 男性1名, 女性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症  
仙台管内 女性2名(*Klebsiella aerogenes*)  
侵袭性肺炎球菌感染症  
仙台管内 男性1名  
梅毒  
大崎管内 男性1名(第43週)  
仙台管内 男性1名, 女性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)  
宮城県(仙台市を除く) 7,638名  
仙台市 7,931名

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より  
石巻管内 第45週採取分 SARS-CoV-2 37件  
気仙沼管内 第45週採取分 SARS-CoV-2 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第42週採取分 (10.17~10.23)	第43週採取分 (10.24~10.30)	第44週採取分 (10.31~11.6)	第42週採取分	第43週採取分	第44週採取分
RSウイルス	3件	0件	4件			
ライノウイルス	0件	1件	0件			
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件			
パラインフルエンザウイルス(解析中)	0件	0件	1件			

## 4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症】

県内の新型コロナウイルス感染症患者報告数は11月16日に3,341人となりました。最近の動向を1週間あたりの推移でみると第43週6,951名、第44週12,102名、第45週15,569名となり、急激に増加しています。  
今シーズンは新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の可能性が高いと言われています。ともにワクチン接種が予防に有効ですので、年末年始の帰省や受験等の前に計画的なワクチン接種を検討しましょう。  
寒くなってくる季節ではありますが、暖房使用時にもこまめに窓を開けて換気を徹底するほか、引き続き場面に応じた不織布マスクの正しい着用や手洗いなど感染予防対策に努めてください。

【RSウイルス感染症】

県内ではRSウイルス感染症の患者報告数が増加傾向を示しています。第42週以降、過去5年の同時期と比較して患者報告数が多い状況が続いていますので、今後の動向に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

